バスケットボール戦評記入用紙

大会　　埼玉県高等学校バスケットボール新人大会
日時　　平成 26 年 1 月 18 日 土 曜日　　第 2 試合　 A コート 時刻 11:30
記入者名　　中村 敬子

Aチーム	得点		得点	Bチーム
正智深谷 高校	88	26 — 13 19 — 16 22 — 15 21 — 19	63	埼玉栄 高校

＜戦 評＞

1P スタートメンバーは正智 ＃4，6，7，8，9 埼玉栄 ＃4，5，6，7，8 お互いにハーフコートのマンツーマンディフェンスから始まる。開始早々、正智＃6のジャンプシュート、3Pシュートなどで7－0となる。しかし、埼玉栄も＃4の3Pシュートとインサイドの＃6，7を使ってうまく攻め、12－9と互角に試合を展開。しかし、正智がインサイドに対してのディフェンスを厳しくすると、インサイドにボールが入らなくなり、外からの単発な攻撃になってしまう。シュートの落ちたところを正智はリバウンドを確実にものにし速攻へとつなげ＃4のレイアップシュート、ジャンプシュートでリズムをつかんだ。26－13正智のリードで終了。

2P 埼玉栄＃5のジャンプシュートが入り好スタートを切った埼玉栄。早めに追いつきたいところだが、正智は＃5のゴール下、＃4のジャンプシュートなどで流れをわたさない。インサイドを使った攻めから突破口を開きたい埼玉栄と、思い切りの良いヘルプ、ローテーションで厳しいディフェンスから速い展開へつなげたい正智の一進一退の攻防となる。終了間際、正智はエンドのスローインから＃7のタップシュートが決まり、試合巧者ぶりを発揮。45－29正智がリードを広げて終了。

3P 埼玉栄は＃5，6の連続得点や、＃4の3Pシュート、＃8のスチールなどで、49－38と追い上げる。正智はディフェンスを粘り、＃4のスチールからバスケットカウント1ショットや、＃8の3Pシュートで踏ん張る。残り3分、早く追いつこうと得点をあせる埼玉栄にミスが重なり、それを正智は落ち着いて自分たちの得点につなげ、58－39と再びリードを広げる。埼玉栄は強引に攻め込むが、なかなか得点につながらず67－44で正智リード。

4P 最終ピリオドに入っても正智の厳しいディフェンスは続き、埼玉栄のインサイドを封じる。正智は、粘り強いディフェンスからスチール、＃4の3Pシュート、＃5のジャンプシュートなどでさらに差を広げていく。残り2分埼玉栄は、オールコートでプレッシャーをかけ得点するものの差は縮まらず、88－63で試合終了。正智が粘り強いディフェンス力で決勝リーグ初戦を白星で飾った。